

平成 25 年度

事業報告書

社会福祉法人札幌厚生会

救護施設 静 心 寮

総 括

景気は上向きつつあるようですが、2014年から2か年かけて消費税が10%になることは現状にも増して施設経営に大きな影響と負担増であり、増税で社会保障がどう変化するかを注視しなければなりません。

一方、救護施設にとって今年度は生活困窮者対策及び、就労支援の強化に取り組みました。いくつかの事例を達成することは出来ましたが、これからも私たちは時代の変化に柔軟に対応し、社会的ニーズに適切に応え、質の高いサービスを提供できるよう努めて参ります。

又、「居宅生活訓練事業」は2名の方の地域移行支援が実現されたことから、今後も継続事業として利用者さんの自立に向け援助して参ります。

1. 生活意欲の醸成

生活の主体者としての「自覚」と「自主性」を養い、小さな事でも自分で行う施設内（ADL）自立を目指せる様、個別支援計画書に基づく支援を実施しました。又、個別レクも多く取り入れ、生きがいとしての生活目標を持つことにより、生活意欲の醸成を図ることができました。

2. 健康管理

精神科嘱託医及び協力医療機関とより連携を密にし、『日頃の観察』に重点を置き早期発見と早期治療に当たりました。又、「施設内リハビリ訓練」も継続実施しました。

3. 給食

集団給食に変化を持たせ、外食レク、行事食を充実させると共に、利用者さんの声を反映し、喫食状況にも注意を払い事故防止に努めました。

4. 環境整備

日常生活動作（ADL）の見直しに基づき、給排水設備、居室及び、共用部分の改修など保守点検を実施しました。

5. 虐待・拘束の防止

重度高齢化に伴いADLの低下は顕著であります、身体拘束を含め個々の人権を十分尊重した対応を心がけ、利用者さんの安全確保に努めました。

6. 防災・訓練

毎年実施している『職員非常呼集』を継続し、施設としての危機管理意識を高め高齢化、重度化に対応した「介助避難」の実施、非常食（飲料水）の備蓄増及び、用品の充実を図りました。

又、各種作業は利用者さんの自主性と『生きがい』につながるよう作業量の確保に努めました。

7. 地域交流

施設行事や町内会行事の交流、施設の開放、器具、備品等の貸し出しに協力し、行事等には『ボランティア』としての協力もお願いしてきました。

8. 家族との交流

毎年の帰省、機関紙（みちしば）の発行及びホームページによる「情報の開示」と、施設行事への案内など積極的に交流を図りました。

9. 緊急一時保護

近年は減少傾向にありますが、社会的ニーズに対応すべき『セーフティネット』の役割を果たすことが出来ました。

10. マニュアル対策

各種マニュアルの整備を行い、苦情解決、ヒヤリハット対策など「各種委員会」の活用を図り、『実践的なマニュアル』作りに取り組みました。

11. 職員体制

配置基準を厳守し業務の見直し、日常生活動作（ADL）の変化に対応した「勤務体制」を見直すと共に、職員の資質向上のため、『内部研修』の充実も図りました。健康管理面では生活習慣病検診の他、独自に「検査項目の増設」と『感染症対応の検査』なども積極的に実施しました。

一方、昨年の格付け改正に引き続き、職員の労働意欲の低下をきたさぬよう法人内で十分協議し、一般職の給与改定を実施しました。

最後に措置費の減額改定の続く中、定員減ながら職員の創意工夫と協力のもと効率的な予算執行を心掛けた施設運営を実施することが出来ました。

※救護施設居宅生活訓練事業

【事業概要】

救護施設に入所している被保護者が円滑に居宅生活に移行できるようにするため、施設において居宅生活訓練を行うとともに、訓練用住居(アパート、借家等)を確保し、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことにより、居宅生活への移行を支援するものです。

職員の配置状況

H25.3.31現在

職員	施設長	事務員	指導員	介護職員	看護師	栄養士	調理員	医師	介助員	その他	計
定数	1	2	1	17	1	1	4(1)	(1)	1		28(2)
現 員	専任	1	1	17	2	1	3		1		27
	兼任		1					(2)			1(2)
	計	1	2	1	17	2	3	(2)	1	0	28(2)

臨時職員配置状況

				5			4			夜警・清掃 3	10
--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	------------	----

入 所 者 の 状 況

1. 月別入退所調

月 理由	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
入所人員	1	3	3	2	2	3	5	3	3	2	2	2	31
退所人員	0	4	1	2	5	1	5	2	2	3	3	1	29
月初日 現在員	96	97	95	97	96	93	97	97	96	97	95	94	1,150
延人員	2,834	2,854	2,769	2,923	2,829	2,725	2,828	2,754	2,818	2,895	2,652	2,882	33,763
1日当 平均人員	94.5	92.1	92.3	94.3	91.3	90.8	91.2	91.8	90.9	93.4	94.7	92.9	92.5

2. 理由別入所者調

月 理由	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
病院から		1	1	1		1	3			1			8
居宅から								2			2		4
その他	1	2	2	1	2	2	2	1	3	1		2	19
計	1	3	3	2	2	3	5	3	3	2	2	2	31

3. 理由別退所者調

月 理由	25/4	5	6	7	8	9	10	11	12	26/1	2	3	計
居宅保護		2		1	3			1	2	1	3		13
帰宅又は 引取入院													
入院					1	1		1					3
他施設へ				1			1			1		1	4
死亡		1	1		1		1			1			5
その他		1					3						4
計	0	4	1	2	5	1	5	2	2	3	3	1	29

4. 実施機関別入所人員調

(平成25年3月末日現在)

実施機関名	委託人員	実施機関名	委託人員	実施機関名	委託人員
札幌市	39(1)	伊達市	3	紋別市	1
小樽市	1	岩見沢市	2		
帯広市	2	石狩市	1	渡島総合振興局	2
釧路市	4	北広島市	1	後志総合振興局	1
美唄市	4	名寄市	11	空知総合振興局	4
北見市	3	稚内市	1	オホーツク総合振興局	7
江別市	2	士別市	1	十勝総合振興局	2
苫小牧市	1	歌志内市	1		
留萌市	1	(市)合計	80	(総合振興局)合計	15
室蘭市	1			総計	95

5. 年齢別調

年齢 性別	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～	計
男	3	0	6	12	8	11	6	6	3	1	56
女	0	0	3	8	5	9	3	8	1	2	39
計	0	0	9	19	13	20	9	14	4	3	95
%	3.1	0.0	9.5	21.1	13.7	21.1	9.5	14.7	4.2	3.1	100

・男子平均 62.5歳

・女子平均66.1歳

・総平均 64.0歳

6. 就学程度別調

年齢 性別	未就学	小学校中	小学校卒	高小中	高小卒	新中中	新中卒	高校中	高校卒	大学	不明	計
男	4	1	4	0	0	0	25	3	18	1	0	56
女	3	1	2	0	0	1	20	3	7	1	1	39
計	7	2	6	0	0	1	45	6	25	2	1	95
%	7.4	2.1	6.3	0.0	0.0	1.0	47.4	6.3	26.3	2.1	1.1	100

7. 障害別調

障害別 性別	知的障害	身体障害	精神障害	重複障害	その他	計
男	9	7	17	10	13	56
女	7	3	13	9	7	39
計	16	10	30	19	20	95
%	16.8	10.5	31.6	20.0	21.1	100

8. 日常生活状況調

区分	歩 行			食 事			入 浴			着 脱 衣			排 泄			身 辺 整 理			金 銭 管 理		
	自 立	杖等の歩行補助具使用	車椅子使用	自 立	一 部 介 助	全 面 介 助	自 立	一 部 介 助	全 面 介 助	自 立	一 部 介 助	全 面 介 助	自 立	一 部 介 助	全 面 介 助	自 立	一 部 介 助	全 面 介 助	自 立	一 部 介 助	全 面 介 助
人数	69	12	14	79	13	3	42	34	19	76	16	3	79	13	3	49	31	15	9	17	69
%	72.6	12.6	14.7	83.2	13.7	3.2	44.2	35.8	20.0	83.2	13.7	3.2	83.2	13.7	3.2	51.6	32.6	15.8	9.5	17.9	72.6

9. 入所者の在寮期間調

年齢 性別	1年未満	1～3年未 満	3～5年未 満	5～10年未 満	10～15年未 満	15～20年未 満	20～30年未 満	30年以上	合 計
男	9	11	2	7	13	2	5	7	56
女	8	2	6	7	5	2	2	7	39
計	17	13	8	14	18	4	7	14	95
%	17.9	13.7	8.4	14.7	19.0	4.2	7.4	14.7	100

・男子平均 12.0年

・女子平均 12.9年

・総平均 12.4年

・最長 56年

10. 身体障害者手帳等級調

別	障害						合計
	1	2	3	4	5	6	
男	3	5	3	2	1	1	15
女	0	0	1	4	1	1	7
計	3	5	4	6	2	2	22

11. 保健福祉手帳等級調

性別	等級			合計
	1	2	3	
男	0	15	4	19
女	4	11	2	17
計	4	26	6	36

12. 療育手帳調

性別	等級			合計
	A	B	B-	
男	1	5	1	7
女	1	3	0	4
計	2	8	1	11

13. 年金受給状況調

性別	種類	国民年金				厚生年金			その他	計
		障害基礎		障害	老齢	障害	老齢	遺族	通算老齢等 公務員共済等	
		1級	2級							
男		7	12	0	3	1	6	1	7	37
女		8	9	0	3	0	7	1	4	32
計		15	21	0	6	1	13	2	11	69

14. 面会・帰省調

項目	回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	計	備考
面会		18	4	6	4	1	1	2	1	1	1	0	2	41	面会人は兄弟姉妹、甥、姪、子、友人、知人等
帰省		3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	帰省先は兄弟姉妹 親、子、甥等